

『パレット』には、本広報紙を絵の具をのせるパレットにみたくて、教育情報を発信し、家庭・地域・学校が一体となって、大きなキャンパスに子どもの未来を描きたいという願いが込められています。

## 県立高等学校13校の正門などが国の登録文化財に!

愛知県教育委員会は県立高等学校に残る歴史的建造物である正門などの調査を行いました。このたび、安城農林高等学校正門をはじめ、明治後期から昭和初期に建設された正門が国の登録有形文化財(建造物)として登録されることになりましたので紹介します。

★13件の正門などが一括して国の登録文化財に【全国初!】

“学校の顔”であるとともに、街路の景観を形成する重要な“地域のシンボル”

★大正末期～昭和初期にかけて建設された7つの門※に共通点を発見!

- 柱礎・柱身・柱頭の3層からなる**主門柱と脇門柱の計4本で構成**
- 愛知県の標準設計の採用による**鉄筋コンクリート造の普及を示す証し**
- ブロックを積み重ねたような**石造風デザイン**



安城農林、明治36年(1903)頃



岡崎、大正前期



半田商業、大正10年(1921)



※津島、大正12年(1923)頃



※刈谷、大正12年(1923)



※瑞陵、大正13年(1924)頃



※鶴城丘、大正14年(1925)頃



碧南、昭和4年(1929)頃



※惟信、昭和4年(1929)頃



※小牧、昭和4年(1929)



※西尾、昭和5年(1930)頃



岩津、昭和12年(1937)



旭丘、昭和13年(1938)

県立高等学校などの歴史的建造物については、愛知県生涯学習推進センター情報誌「まなびいあいち」の「あいち歴建さんぽ」のコーナーで紹介しています。現在、52号、54号に掲載しています。今後も継続的に紹介していきます。

まなびいあいち

